

学校教育目標

- ◎じょうぶな子
- 思いやりのある子
- よく考える子

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

多くの児童が本好きで、読書量も増加しているが、調べ学習等で図書館を利用する機会は多くない。

学校図書館の目標

学校図書館の活動を通し幅広く読書する意欲を育て、主体的に学び続けるための資質や能力を育成する。

ねらい

- ・読書の習慣化を図るとともに、多様な読書の仕方を身に付させる。
- ・望ましい図書館活用の態度や技能を養う。

指導の重点

- ・環境を整えて読書意欲を向上させ、情報収集の仕方や記録の取り方等の技能や、問題を発見し収集した情報を整理・分析したり、自分の考えをまとめ、表現したりする力を育成する。
- ・学年に応じた利用指導を系統的に行う。

各学年の重点目標

第一学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物を楽しんで読もうとする。</li> <li>・図書館に親しんで利用できる。</li> </ul>	第二学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の本を読もうとする。</li> <li>・進んで図書館を利用して調べようとする。</li> </ul>	第五学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。</li> <li>・目的に応じて図書館を適切に利用する。</li> </ul>
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物を進んで読もうとする。</li> <li>・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。</li> </ul>	第四学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。</li> <li>・調べ学習に意欲的に取り組む。</li> </ul>	第六学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。</li> <li>・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。</li> </ul>

具体的な取組

〔各教科〕

- 各教科・領域の導入で、児童の関心を高めるために図書館を活用する。
- 各教科・領域で必要な情報の収集及び課題の解決を図るために進んで図書館を活用する。

〔読書科〕

- 教育課程全体を通して、計画的な朝読書や読書活動を推進する。
- 各教科・領域の活動に学校図書館や地域図書館を活用して情報活用能力の育成を図る。

〔総合的な学習の時間〕

- 各教室のICT機器を、学習の場面で有効かつ適切に活用し、児童が関心をもって活動したり、知識を広げたりできるようにする。

〔特別活動〕

- 委員会活動時間内に、ポスターやポップ作り、おすすめの本の紹介、月毎の貸し出し冊数調べなど、さまざまな読書推進活動を行う。

〔特別の教科 道徳〕

- 季節・学習におすすめの本コーナーを設置し児童の選書の幅が広がるような展示をする。

〔家庭・地域・区立図書館職員との連携〕

- 保護者による図書整備ボランティアが、毎月1・2回程度、学校図書館にて活動を行う。

朝読・昼読の推進

推進組織の確立・充実

図書館経営評価の実施

図書環境の整備・充実